

【学校教育目標】  
～明るい未来を拓く～  
社会に自立する生徒の育成  
【校訓】力強く・心豊かに たゆみなく

# 上 篠 路

学校HP <http://www16.sapporo-c.ed.jp/kamishinoro-j/>

発行者：校長 伊藤 直

## 全国学力・学習状況調査結果分析をもとに 生徒の学力向上を実現できる学校へ！

★4月18日（木）に実施した全国学力・学習状況調査の結果を受けて、本校生徒の学習状況や調査結果から考えられる課題や改善の方向について検討した結果をお知らせいたします。保護者・地域の皆様にご覧いただき、本校の学習状況についてお知りいただくとともに、今後、学校・家庭・地域が一体となった教育の一層の充実に向けて、御理解と御協力をお願いいたします。

なお、本校におきましては、学校間の序列化や過度な競争を招かぬよう配慮する趣旨のもと、札幌市の他の学校と同様に、平均正答率等の数値結果の公表は致しませんので、御了承ください。また、本調査結果に関わるお問い合わせにつきましては、本校教頭まで御連絡いただきますよう、お願いいたします。

### 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取り組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。

### 2 調査の内容

#### （1）教科に関する調査

- ①知識と活用の力を一体的に調査するため、昨年度までのA問題（主として「知識」に関わる問題）と、B問題（主として「活用」にかかわる問題）の区別がなくなりました。
- ②本年度は英語の「3技能」と「話すこと」の調査が行われました。
- ③記号の意味

（△）上回っている	平均正答率より4ポイント以上、上回っている	ほぼ同程度
（◇）やや上回っている	平均正答率より+3ポイント	
（◆）やや下回っている	平均正答率より-3ポイント	
（▼）下回っている	平均正答率より4ポイント以上、下回っている	

#### （2）生徒質問紙による調査

学習意欲、学習方法、学習環境、  
生徒の諸側面に関する調査

★本校では数値の結果だけでなく、生活習慣や学習習慣、生徒の心の成長が学力の重要な土台となると考え、質問紙調査の結果分析に基づく教育課程と学習指導方法の改善を両立させ、生徒の学力向上を目指していきます。



# 国語

## 全国学力・学習状況調査結果分析

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<b>◆「話すこと・聞くこと」の平均正答率</b> ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	○話合いの話題や方向性を踏まえて自分の考えをもつ力を伸ばすことが必要である。	○対話や討論、意見交換等の過程において、話合いの目的や話題についての確認や、内容に関する質問をしながら、自分の考えとの共通点や相違点を整理するなどの学習活動を充実させる。
<b>▼「書くこと」の平均正答率</b> ・全国平均に比べ、下回っている。	○伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く力を伸ばすことが必要である。	○取り出した情報を基に自分の考えを加えて書くなど自分が伝えたいことの根拠として読み手に分かりやすいように書く学習活動を充実させる。
<b>◇「読むこと」の平均正答率</b> ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。	○文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつ力を伸ばすことが必要である。	○説明的な文章を読む際に自分の考えの根拠となる段落などを挙げて、自分の考えをまとめ、書き手の目的や意図、その効果について考える学習活動を充実させる。
<b>◆「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の平均正答</b> ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	○語の一部を省いた表現について、話や文章の中での適切な活用の仕方を理解する力を伸ばすことが必要である。	○具体的な場面や状況に基づいて考える、事象や行為などを表す語句について、用い方を検討したり、用いる際の配慮を考えたりするなどの学習活動を充実させる。

国語科では、「読む力」はあるが、「書く力」や「表現する力」が課題となっていることがわかりました。近年、語彙が不足している生徒や慣用表現がわからない、例え話が理解できない生徒が増えているので、「正しく言葉を学ぶ」「多様な表現で伝える」といった学習を各教科で取り組んでいきたいと思えます。



# 数学

## 全国学力・学習状況調査結果分析

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<b>▼「数と式」の平均正答率</b> ・全国平均に比べ、下回っている。	○与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることが必要である。	○説明すべき事柄に照らし合わせて、どのような式で表現するかを考える学習活動を充実させる。
<b>▼「図形」の平均正答率</b> ・全国平均に比べ、下回っている。	○結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見出し、説明することが必要である。	○与えられた事柄や予想した事柄の成立を、具体例をあげて調べ、結論の成立の前提を考え、見出した事柄を数学的に表現する学習活動を充実させる。
<b>▼「関数」の平均正答率</b> ・全国平均に比べ、下回っている。	○数学的に表現したグラフ上の座標を事象に即して解釈することが必要である。	○問題解決において用いたグラフの座標軸の意味をとらえ、グラフ上の二つ座標の差を事象に即して解釈する学習活動を充実させる。
<b>▼「資料の活用」の平均正答率</b> ・全国平均に比べ、下回っている。	○問題を解決するためにどのような代表値を用いるべきかを判断することが必要である。	○目的に応じてデータを収集し、その分布傾向を読み取り、判断する活動による統計的な問題解決を行う学習活動を充実させる。



数学科では、全体的に全国平均を下回っていることがわかりました。数学の力は、課題解決的な学習において、どのような知識・技能を活用して考えるとよいのか、自分の考えは根拠が明確となっていて論理的矛盾はないかといった、「構想する力」や「論理的思考」など、すべての教科での学習にもつながるため、数学はもちろん、各教科でも「考え方」を大切に学習を展開していきたいと思えます。

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
◆「聞くこと」の平均正答率 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	○聞いて把握した内容について、適切に応じることが必要である。	○場面などの設定を理解し、どのような応答がふさわしいか考え、内容を踏まえて自分の考えや意見を表現する学習活動を充実させる。
「話すこと」 ※札幌市全体の調査結果は国から提供されていません。		
◇「読むこと」の平均正答率 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。	○まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解することが必要である。	○文章全体を通して、読みやすい部分を手掛かりにしながら、読みづらい部分も、推測して読み進め、文章を読むことに慣れる学習活動を充実させる。
◇「書くこと」の平均正答率 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。	○与えられた情報に基づいて、適切に動詞を活用させるなど、基本的な文法事項を理解して正確に書くことが必要である。	○目的・場面・状況に応じて、既習の言語材料を繰り返し活用する活動の充実。生徒自身が誤りに気付くよう促し、学習内容の定着を図る指導の工夫を行う。

### 1 生活習慣に関わること

- 「毎日朝食を食べている」生徒の割合が全道・全国より5%以上、下回っています。また、「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」「毎日同じくらいの時刻に起きている」生徒についても、全道・全国を下回っており、家庭での規則正しい生活習慣について、御家庭でも御指導いただければと思います。
- 家の人と学校での出来事について話をしている生徒は35.6%となっており、全国（46.4%）、全道（47.4%）と比較して低くなっています。学校だよりや学校ホームページなどで、学校での生徒の様子をお伝えしていきますので、御家庭でもぜひ話題にいただければと思います。

### 2 生徒自身に関わること

- 「自分には、よいところがある」と答えた生徒は69.3%と、全国（74.1%）、全道（73.4%）と比較して大きく下回っています。行事や学級活動、授業など、様々な場面で一人一人の生徒が個性やよさを発揮できる場をつくり、今後も「一人一人が輝く場面のある学校づくり」に努めていきます。
- 「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した生徒は75.3%と、全国（81.5%）、全道（82.1%）を下回っています。生徒が「認められている」「自分のことを見てくれている」と実感できる指導や声掛けなど、積極的なコミュニケーションを増やし、これまで以上に生徒理解に努めていきたいと思えます。
- 「将来の夢や目標をもっている」と回答した生徒は55.4%と、全国（70.5%）、全道（70.6%）を大きく下回っています。本校の過去2年間のデータと比較しても数値が低いことから、3年間の系統的な進路学習や、拡大チャレンジングタイムを軸としたキャリア教育の一層の充実を図っていきたいと思えます。
- 「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある」「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦している」と回答した生徒の割合が、全国・全道と比較して低い数値となっており、「達成感」や「成就感」を感じる活動を工夫し、生徒の自己肯定感や自己有用感を高めていきたいと思えます。
- 「学級みんなで話し合っただけで決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがある」と回答した生徒が全国・全道を下回っていました。集団の一員としての協力性を高めたり、仲間と喜びを分かち合ったりできるよう、行事や学習活動で一人一人の生徒の個性を生かし、他者を認める心や共感的姿勢を育てていきたいと思えます。



- 「学校に行くのが楽しい」と回答した生徒が72.2%と、全国（81.9%）、全道（78.7%）を下回っていました。友人や仲間との関係性もありますが、将来への目標をもち、学ぶことの必要性を感じて、生き生き生活できる学校づくりに努めていきたいと思えます。
- 「学校の規則を守っている」と回答した生徒は74.3%と、全国（66.8%）、全道（64.9%）を上回っています。例年、規範意識の高さは全国、全道を上回っているため、これからも正しく考え、判断・行動できる生徒を育てていきたいと思えます。一方で、「人が困っているときは進んで助けている」「人の役に立つ人間になりたい」と回答した生徒の割合が全国・全道より低くなっており、ボランティア活動など、「行動する力」を育てていきたいと思えます。
- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した生徒は、78.2%と、全国・全道とほぼ同じ数値となっており、ここ数年の傾向が改善されています。今後も、いじめのない学校を目指して、取組を続けていきたいと思えます。

### 3 学習に関わること

- 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、わかるまで教えてくれていると思う」と回答した生徒が90.1%と、全国（84.6%）、全道（85.8%）を上回っており、今後も学習スペースの活用や生徒への学習サポートを継続していきたいと思えます。
- 「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した生徒が38.6%と、全国（50.4%）、全道（49.2%）を大きく下回っています。「受け身」ではなく、自ら進んで学習に取り組む学習習慣づくりを進めていきますので、御家庭でも御指導をお願い致します。
- 学校以外の1日の学習時間は、「30分～1時間（21.8%）」と「10分～30分（23.8%）」に多くの生徒が集中していました。「まったくしない」と回答した生徒は全国、全道よりも少なくなっています。「塾に通っているだけ」、「宿題をやっているだけ」にならないよう、家庭学習での予習・復習の習慣を身に付けさせていきたいと思えます。
- 「授業で学んだことを、ほかの学習に生かしている」と回答した生徒の割合が全国・全道を下回っていました。本校の研究内容や学び力育成プログラムにもある「意味理解を伴った知識を活用する学習」に、これまで以上に真摯に取り組んでいきたいと思えます。
- コンピュータなどのICTを活用して授業を行ったり、生徒間で話し合い、自分の考えを深めたり広げたりする学習活動が十分とは言えず、生徒が協働で課題の解決に向かう学習のさらなる充実を目指して行きたいと思えます。
- 「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」と回答した生徒が、全国・全道を大きく下回っており、例年、この質問への肯定的回答の割合が低い傾向が続いています。新学習指導要領への移行・実施に伴い、総合的な学習の時間のプログラムを見直し、改善に努めていきたいと思えます。



### 4 その他（読書・地域・ボランティア・部活動）

- 1日の読書時間は全国、全道と同じくらいの割合でとなっています。また、全く読まない生徒の割合が低く、読書時間が30分～1時間の生徒が多くの割合を占めています。
- 「読書が好き」と回答した生徒は50.5%と、全国（38.9%）、全道（42.6%）を上回っていました。図書館を利用している生徒の割合は低めでしたが、朝読書が定着しており、読書が好きな生徒が多くなっています。
- 「新聞を読んでいる」生徒の割合が低く、「ほとんどまたは全く読まない」生徒の割合が全国・全道を上回っています。また、「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した生徒の割合が全国・全道を下回っており、地域や社会への関心を高めていくよう、地域の調べ学習を取り入れたり、生徒会活動などで地域と積極的に関わる活動を行ったりしていく必要があると考えています。
- 部活動への加入は63.4%と、全国（86.6%）、全道（77.0%）を下回っています。学校規模や教員数から、新たな部を設置することは難しいですが、生徒が楽しく参加できる部活動を続けていきたいと思えます。

今回の調査結果をもとに、今後も保護者・地域の皆様と協力しながら、生徒の学力の向上はもちろん、学力の土台となる心の豊かさや健やかな身体の育成を目指していきますので、御理解・御協力をお願いいたします。